

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 023号

組織と個人の活性化に 心理学を活かしたいとの想い

高井 美子さん

会社名：中央システム株式会社 所属：経営企画室 役職：室長

資格：産業カウンセラー、キャリアカウンセラー、
キャリアコンサルタント技能士2級



養成講座の受講仲間からの寄せ書きと
日々励まされる言葉

【受講のきっかけ】

数年前、上司の「産業カウンセラーの方が広い領域をカバーするのではないか」という一言が受講の契機になりました。既に、キャリアカウンセラー資格を取得していましたが、人間関係やモチベーションに課題を感じていた折のこと。週末に自宅から通いやすい船橋で講座があり、思い切って飛び込んでみると職種も年齢も多様な仲間との貴重な出会いが待っていました。最初は、ぎこちなかった面談実習も、すぐに悩みや関心事を本音で語り合うことができる関係性が築かれていきました。カウンセリング理論と面談スキルのブラッシュアップが目的でありながら、組織のしらみや利害関係のない、安心・安全な自己開示の場を得る副次効果を得ることができ、すばらしい講師と仲間恵まれ、楽しく有意義な体験でした。

【資格取得後の活動状況】

資格取得はゴールではなく、スタートラインに立つ事だと実感しています。現在、経営企画室の主な業務は、直接には相談業務や人材育成とは離れていて、経営計画の策定、経営課題の改善、業績管理などが中心ですが、経営資源といわれる「ヒト、モノ、カネ、情報」の最大活用は経営の基本。特に「ヒト＝人財」は企業活動を支える基盤であり、経営企画室がカウンセリング・マインドを大事に

することは必然に思えました。

私はいま、組織内カウンセラーとして相談業務に携わっているわけではありませんが、傾聴の基本的姿勢とスキルは、すべての人に必要不可欠だと考えています。それに、ヒトの心理やモチベーション理論に反した指導と声掛けが意図せず社員のやる気を削いでしまうような状況があるとすれば、大変な損失です。

もっと企業や組織の中に、心理学の知見が活かされると良いと考えていた矢先、養成講座の講師の方から筑波大学の社会人大学院の受験を薦めていただき、カウンセリングコースに進学、2018年3月に修士課程を修了しました。いまた産業カウンセラー協会のキャリア・インターン制度に応募し、講習がスタートしています。筑波大学院の修了生によるキャリア支援プロジェクト（TCCP）にも参加し、活動を開始する予定です。

私の所属するIT業界は、メンタル不調者が多いといわれていますが、心理学はヒトが生き（活き）やすくなる可能性を秘めたツールだと思っています。これからやっとなんとか理論・実践・研究のサイクルをまわし、ヒトが生き生きと働くことに役立てることができそうです。